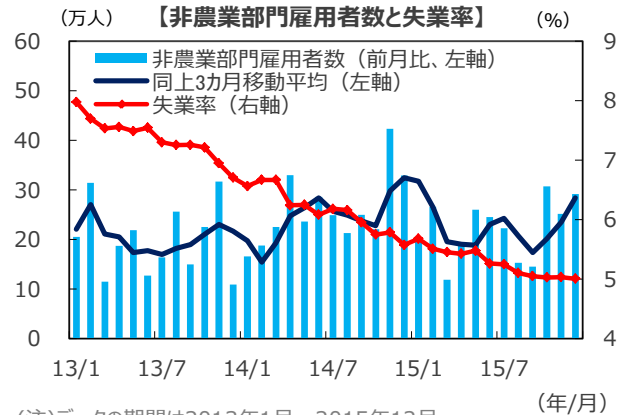


今日のトピック 米国の雇用統計 (2015年12月) 労働市場は改善の基調を維持

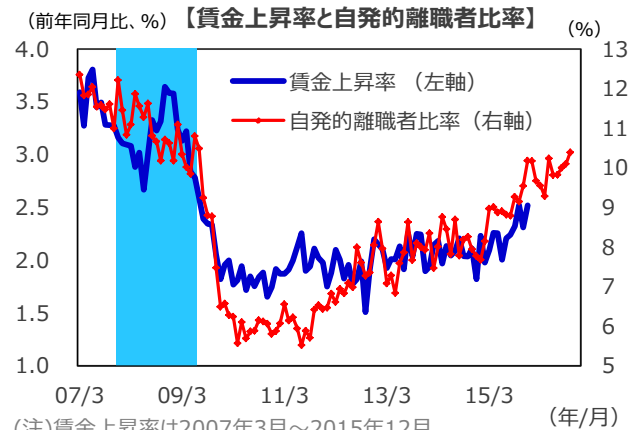
ポイント1 雇用者数は29.2万人増 天候要因を割り引いても良好

- 12月の非農業部門雇用者数は前月比29.2万人の増加となり、市場予想（ブルームバーグ集計）の同20.0万人増を上回りました。
- 過去2カ月分が合計で5.0万人ほど上方修正されたこともあり、雇用の増加ペースは3カ月平均で28.4万人と、30万人の大台に接近しました。
- 建設業の雇用者数の大幅な増加から見て、暖冬の影響があったと考えられますが、それを割り引いても良好な結果だったといえます。



ポイント2 失業率は前月比横ばい 賃金上昇率は前年比2.5%増

- 一方、失業率は5.0%でした。景気拡大により労働供給（労働力人口）が大幅に増えたものの、労働需要（就業者）も、ほぼそれと同じペースで拡大したため、前月と同じ水準を維持しました。
- 時間当たり賃金は前月比横這いでしたが、前年同月比では2.5%の増加と、前月の2.3%から伸び率が拡大しました。労働需給の改善により、賃金上昇率は緩やかながらも高まる見通しです。



今後の展開 労働市場は改善基調だが、利上げは金融市場の動向次第

- 12月の雇用統計は、米国の経済が順調に拡大していること、労働市場の Slack（需給の緩み）がかなり改善したことを示唆するものでした。16年も利上げは継続されると予想されます。
- 市場では3月の利上げ見通しが浮上していますが、物価が低位で安定していることや、中国発の金融市場の動揺が完全には終息していないことなどから、3月は時期尚早と考えられます。

ここも
チェック! 2016年1月8日 FOMC「議事要旨」(米国)
2016年1月7日 米国のISM景況感指数 (2015年12月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。